業務方法書様式第３号（第８条関係）

○○年度　国内肥料資源利用拡大対策事業費補助金

遅延届出書

番号

令和○年○月○日

（広島県〇〇事務所（農林事業所）長　経由）

広島県農業再生協議会会長殿

所 在 地

事業実施主体名

代表者氏名

令和○年○月○日付け○○第○○号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、下記の理由により（予定の期間内に完了しない／遂行が困難となった）（※１）ため、広島県農業再生協議会国内肥料資源活用総合支援事業業務方法書第８条の規定に基づき届出する。

記

　１　補助事業が（予定の期間内に完了しない／遂行が困難となった）（※１）理由

　２　補助事業の遂行状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分  （※２） | 総事業費 | 事　業　の　遂　行　状　況  （※３） | | | | 備　考 |
| ○年○月○日までに  完了したもの | | ○年○月○日以降に  実施するもの | |
| 事業費 | 出来高比率 | 事業費 | 事業完了  予定年月日 |
|  | 円 | 円 | ％ | 円 |  |  |

（注）１　括弧内（※１）は、該当するものを記載すること。

２　（※２）の「区分」欄は、別表の区分の別に記入すること。

３　（※３）の「事業費」欄には、事業の出来高を金額に換算した額を記載すること。

４　補助事業の遂行状況は、届出時点において確認されている直近の遂行状況を記載することとし、「○年○月○日以降に実施するもの」の欄は、完了時期を延期して事業を継続したい場合のみ記載すること。

５　記載事項及び添付資料が既に提出している資料の内容と重複する場合には、その重複する部分については省略できることとし、省略するに当たっては、提出済の資料の名称その他資料の特定に必要な情報を記載の上、当該資料と同じ旨を記載することとする。

６　添付書類のうち申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。